
僕らしさ。

齋藤 花帆

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
僕らしさ。

【Nコード】
N2461T

【作者名】
齋藤 花帆

【あらすじ】
鬱病の彼女と僕の話。

僕の気持ちは伝わるのだろうか。

いや、伝えてはいる。

届くことがあるのだろうか。

彼女は今は誰とも付き合いたくないと拒む。

僕はそんな彼女をそれものとも受け入れる。

それでこそ彼女なのだから。

だからこの気持ちは届かなくてもいい。

彼女と話せる、彼女と遊べる。

それだけでいい。

大好きな彼女。

愛おしい彼女。

僕の気持ちなんてどうでもいい。

彼女が彼女らしく生きていてくれれば。

鬱病を患っている彼女。

一日家でパソコンをしている。

だから僕はそれに付き合う。

ゲームをしたり、おしゃべりをしたり。

そのために仕事もやめた。

彼女が彼女らしくあるために僕がほんの少しでも役に立てるなら・・。

早く病気が治って欲しいと思う。

その反面、この生活が終わってしまうことに悲しみを覚えるんだ。

彼女が社会復帰をしてしまった時、僕には何もなくなる。

その時、彼女に気持ちが届くことがあるのだろうか。

いや、そんなことはどうでもいいはずだ。

彼女が彼女らしく生きる。

僕はそのためになんでも捧げる。

ありがとう。

彼女に出会わせてくれてありがとう。

僕の何にもない生活に光を与えてくれた。

仕事なんてどうでもいい。

彼女が彼女らしくいることが、僕が僕らしくいることでもある。

いつか、僕の手から離れていっても

僕はいつでも待ってるからね。

どんな苦境に悩まされても、どんな悲しみに襲われても

僕はずっと待ってるよ。

パソコンをつけて待ってるからね。

でも、君が君らしくいることを僕は心から願う。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2461t/>

僕らしさ。

2011年10月9日01時50分発行